

令和6年度 東京都立立川高等学校 推薦に基づく入学者選抜（普通科）

小論文

注 意

- 1 開始のチャイムが鳴るまでこの問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は **1**、**2** で **4 ページ** にわたって印刷してあります。
- 3 検査時間は **50分** で、終わりは **午後0時00分** です。
- 4 声を出して読むではいけません。
- 5 答えは全て解答用紙に**横書きで明確に記入し、解答用紙だけを提出**しなさい。
- 6 答えに字数制限がある場合は、**、や。や「**などもそれぞれ**1字と数えなさい**。
- 7 **2ケタ以上の算用数字**や**アルファベット**を書く際には、下記のように**1マスに2文字**記入しなさい。
例: 1,234 の場合

12	34
----	----

 ab の場合

ab

 abc の場合

ab	c
----	---
- 8 答えは解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- 9 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 10 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

1 次の文章を読んで、あとの問に答えよ。(＊の語は、後に〔注〕がある。)

「神について」「自由について」といった論題を、実証的に調査するのは難しいことです。しかし、「自由について哲学者が書いたもの」は実証的に調べることができます。そして、「その論じ方にはどういう傾向性があるか」は、そうした研究の主題になりえます。

主題と対象と方法を明確化していくことを、いろいろな分野でやってみましょう。
たとえば哲学者の研究で、

「^{*}ハンナ・アーレントについて」

というテーマで卒論^{*}を書こうという人がいたとします。しかしこれでは、アーレントの伝記的事実が主題なのか、思想が主題なのか、わかりません。思想を主題にするにしても、その人が書き残している文書を対象にしないと、具体的な調査ができません。どういう方法で研究するのも、はっきりしていた方がいいでしょう。

そう考えて明確化させると、たとえばこんな感じになります。

「ハンナ・アーレントの労働概念——アーレント『人間の条件』とマルクス『資本論』第一巻との比較において」

アーレントが「労働」について何を考えていたかは、直接に観測することはできません。しかし何を書いていたかは、英語やドイツ語で書き残した著作の記述から、観測することができます。そして、それを^{*}マルクスや^{*}ヘーゲルの著作の労働に関する記載と比較しながら、特徴を調査することも可能です。

そうやって、直接見たり聞いたりできないものを、見たり聞いたりできるものを調査することを通じて、できるだけ明らかにしていく。このように、主題と対象を設定すると、実証的な研究ができると考えられます。

ほかにも政治だと、たとえば、

「政治参加の世代間格差」

このままでは、特定選挙区における選挙運動への参加程度の相違なのか、候補者の年齢と当選確率の相関なのか、よくわかりません。調査の対象も含めて、明確化させた例を考えてみました。

「投票参加の世代間格差構造とその変遷——『明るい選挙推進協会』選挙後調査データ 1958－2017 の計量分析」

「投票参加の世代間格差構造」は、もちろん直接には、見たり聞いたりできません。そういう抽象的な主題を、具体的に観測されたデータの計量分析を通して探求するわけです。

いわゆる^{*}サブカルチャー研究でも、たとえば、

「日本アニメの外国への影響」

これだと対象が不明確で、おそらく具体的な調査は困難です。

(小熊英二「基礎からわかる 論文の書き方」(一部改変)による)

- 〔注〕 ハンナ・アーレント ―― ドイツ出身のアメリカの政治哲学者、思想家。
卒論 ―― 卒業論文の略。大学などで卒業研究の成果として提出する論文。
マルクス ―― ドイツの哲学者、経済学者。
ヘーゲル ―― ドイツの哲学者。
サブカルチャー ―― ここでは、社会全体ではなく社会の一部のみで栄えている文化の意。アニメ、アイドルなど。

〔問〕 あなたは立川高校に入学し、探究活動において、下線部「日本アニメの外国への影響」について、調査しようとしている。

- (1) 本文の内容に沿って、調査に適切な**主題**を設定せよ。
- (2) (1) を設定した理由と具体的な調査の方法を、250 字以内で述べよ。

2 次の文章を読み、下の図を見て、あとの各問に答えよ。

図1は夏季オリンピックが開催された都市と開催年、図2と図3は韓国（大韓民国）、中国（中華人民共和国）のGDP推移を示している。また、表1は問題を考える際のメモであり、適宜書き込みながら利用してもよい。

図1

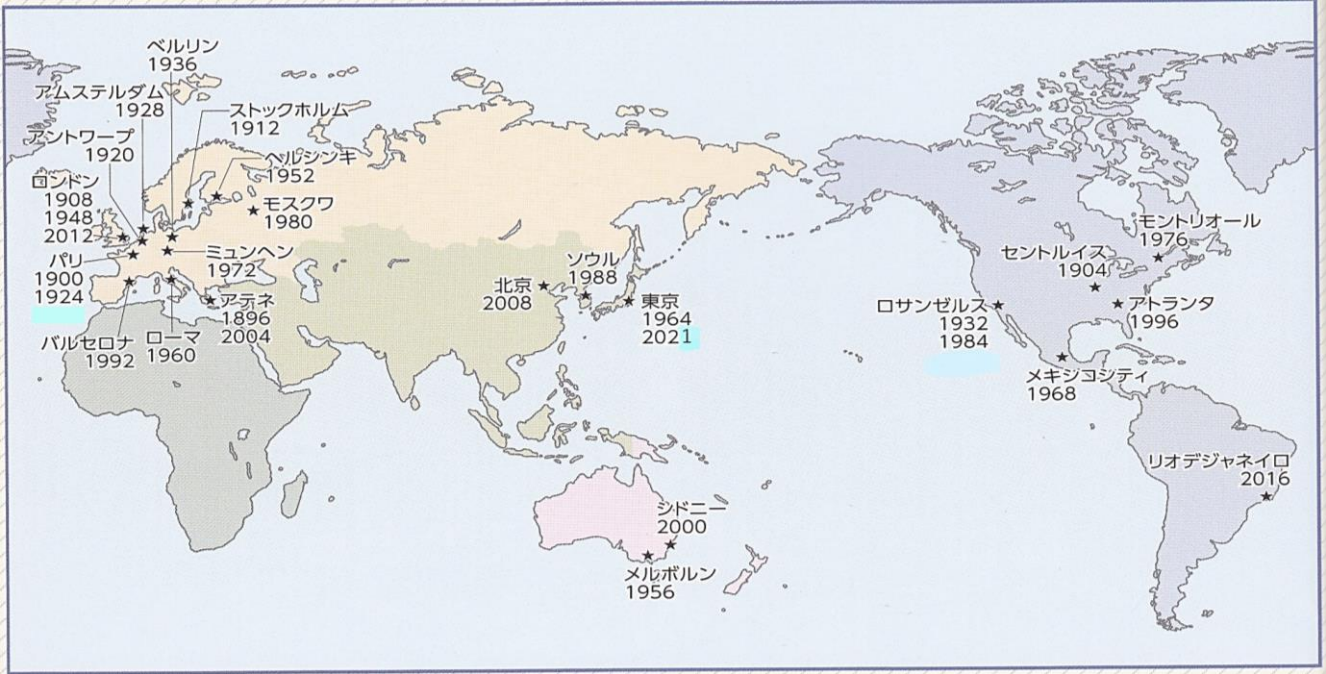


図2

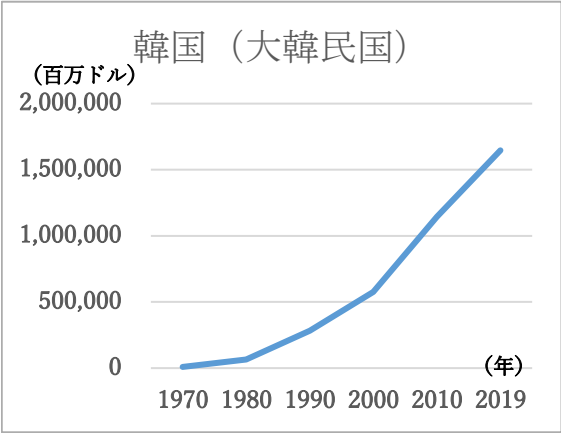


図3

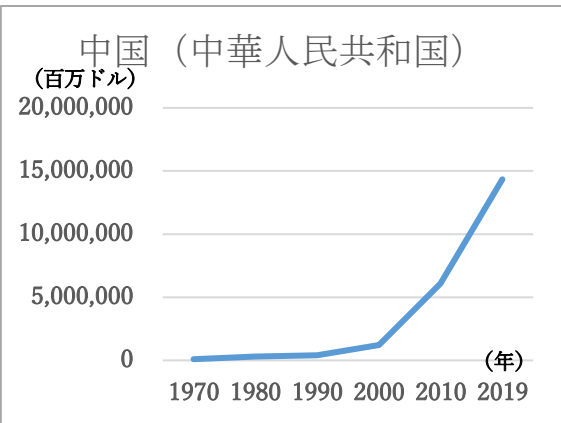


表1

南北アメリカ	ヨーロッパ	アフリカ	アジア	オセアニア

〔問 1〕 図 1 より、夏季オリンピック開催地域について、1956 年より前と以後とではどのような違いがあるか。80 字以内で具体的に説明せよ。

〔問 2〕 21 世紀に開催された夏季オリンピック大会の大陸別割合を計算せよ。その際、大陸名は表 1 の表記に従って「南北アメリカ大陸〇〇%、ヨーロッパ大陸△△%・・・」という形式とし、0 %となる大陸は除外すること。割り切れない場合には、小数点第 1 位で四捨五入して整数で解答すること（そのため合計が 100%にならない可能性もある）。また、割合の多い方から順に書き、同率である場合には表 1 で示した左側の大陸を優先して表記すること。

〔問 3〕 図 2 と図 3 を参照しながら、両者に共通する夏季オリンピック大会開催の経済と国際政治における意味を、60 字以内で述べよ。なお、その際、韓国（大韓民国）と中国（中華人民共和国）の個別の事情を書く必要はない。

図 1 は『歴代オリンピックでたどる世界の歴史 1896～2016』山川出版社 2017 年、図 2・3 は『世界国勢図会 2021/22 年度版』矢野恒太記念会 2021 年より作成。

問題は以上です。